

討論



日本共産党議員団

請願第10号 安全保障関連法制定の中止を求める請願は採択すべきと考える。

請願は、自衛隊を戦闘地域への派兵を認め、任務も危険が増し戦闘への参加につながることからこの法案制定の中止を求めるものだ。

衆議院憲法審査会で与党推薦の学者を含む3人全員が「違憲」と表明。二ユース番組の調査でも151人中127人の憲法学者が「違憲」と回答。「合憲」の回答は3人だけ。また、集団的自衛権の行使の根拠としている砂川判決。当時の裁判弁護団が「裁判の争点は駐留米軍が違憲かを問うもので集団的自衛権行使に触れるところは全く無い」と抗議声明を出している。

政府は「活動する場所は戦闘行為がない場所」と繰り返し、提案されている「重要影響事態法案」「国際平和支援法案」には、これまで明記されていた「戦闘行為が行われることがない」と認められる地域」という規定を削除している。追及され首相も認めている。

「平和安全」の名前を取りながら中身は武力の行使、戦力の保持など憲法9条を踏みこむもので廃案にすべき法案である。本請願は採択すべきだ。

自民クラブ

請願第10号 安全保障関連法制定の中止を求める請願に反対

国民の生命、財産、そして領土を守ることは国家の最も重要な使命であり、責任である。国際情勢が激変しようとする中、一般の中国の軍事的膨張による南シナ海における「力による現状変更」に対して、アメリカは中国に直接、即時「埋め立て中止」を要求した。だが、中国は「海上軍事競争の準備を最優先し、領土主権を断じて守り抜く」と拒否。尖閣諸島についても核心的利益と表現し「必要ならば武力で領土を守る準備はできている」とまで広言する。戦後70年間、日本がともかくにも他国に侵略されなかったのは善しあしは別として、日米安保によるアメリカの軍事力と憲法違反と言われた自衛隊という武力組織が存在したからである。憲法9条は、その手足を縛る役割だけで、日本の平和には何の貢献もしていない。今日、わが国を取り巻く安全保障環境の厳しさを考えれば、集団的自衛権の限定行使容認を柱とする安全保障関連法案の今国会での成立を期すことが、今の政府に課せられた責任であると考えられる。

公明党議員団

請願第10号 安全保障関連法制定の中止を求める請願について

現在、日本には核兵器や弾道ミサイルなど大量破壊兵器による脅威があり、拡散している。軍事技術も著しく高度化し、国際テロやサイバーテロの脅威も深刻である。

国と国民を守ることは政治の最も大事な仕事である。隙間のない安全保障体制を構築し、抑止力を強化する必要がある。一方で、国際社会の平和と安全に対する貢献も重要である。

海外での武力行使を禁じた憲法9条の解釈は変えず、専守防衛の理念を堅持。専ら他国防衛のための集団的自衛権の行使は認められません。

その上で、自衛の措置がどこまで認められるのか、その限界はどこにあるのかを突き詰めて議論した結果が昨年7月の閣議決定である。

わが国の防衛は、主として自衛隊と日米安全保障条約に基づく米軍と2つの実力組織によって確保されている。

日米安全保障条約を軸に、国民の生命を守る体制をいっそう強固にし、人道復興支援など平和協力の分野で貢献を目指す平和安全法制である。よって、不採択とする委員長報告に賛成する。

一般質問

ダイジェスト



市議会議員の税金滞納問題について

問 市議会議員であった藤田氏が税金を滞納し、差し押さえられたまま県議会議員に立候補し、初当選をした事実について市長はどのような見解をお持ちか。また、その事実を知っていたのか。

答 私を信用し、彼に投票された方々に対しては、責任を感じており、心苦しく申し訳なく感じている。必要のない個人情報に一切接することはない。

問 藤田氏は、滞納や差し押さえを知らなかったと言っているが、回収にあたって手続きに問題はなかったのか。

答 差し押さえの効力が発生する書類については配達証明で送達している。差し押さえ後の滞納者への折衝は、直ちに面談等により納付誓約書を徴し、自主納付を指導している。

問 今回の事態は、市民の信頼を著しく損ねるとともに、三条市全体にとっても大きな損害を与えた行為であり、社会的かつ道義的責任は重大で、市民をだました罪は非常に重く思っている。県議会議員を即辞職すべきと思うが、市長の見解は。

答 政治家の出处進退は、あくまでも本人の判断によるものと捉えている。

図書館について

問 市民に親しまれる図書館を目指し、さらなるサービスの拡大にどのようなことを考えているのか。誰でも参加できる催し物の開催、中央公民館や歴史民俗産業資料館、まちなか交流広場での各種イ



図書館栄分館 しかけ絵本コーナー

ベント情報を図書館で入手できる体制づくりを図りたい。また、高齢者や視覚障がいのある人にも楽しんでもらえる字幕入りや音声解説が入った映画の上映などを予定している。

問 スポンサーになって雑誌の購入費を負担してもらい、本に企業名を入れたカバーをつける雑誌スポンサー制度を導入してはどうか。

答 既に県内で実施しているところを視察してきた。今後三条市でも導入について検討していきたい。
問 図書館栄分館で絵本がもっと市民の話題になるような催し物を行うてはどうか。

問 昨年11月に実施された総点検の結果、何件くらいの指摘事項があったのか。



第一中学校区小中一体校

第一中学校区小中一体校の工事などについて

達成した。現在、実行委員会が読み聞かせの会や絵本を紹介するコンシェルジュの会を実施している。栄分館のしかけ絵本について市民への浸透を図り、より多くの子どもたちに興味を持ってもらえるよう活動を展開していきたい。

答 総点検の結果に基づき計画を策定し、指摘事項の63件については全て完了している。教室の窓の手す